

2017 年 1 月 25 日

経済レポート

2016 年 12 月の貿易統計の結果 ～実質輸出は持ち直している～

調査部 研究員 土志田るり子

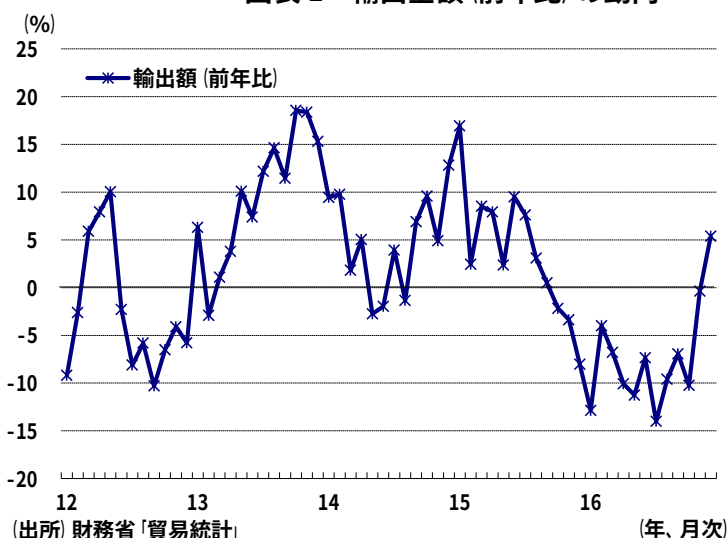
○輸出の動向

12 月の輸出金額は、6 兆 6790 億円 (前年比+5.4%) と 15 ヶ月ぶりに増加した (図表 1)。輸出価格指数は前年比－2.7%と低下が続いたものの、輸出数量指数が同+8.4%と上昇した。なお、12 月の貿易取引の換算レートは 1 ドル＝113.31 円と 11 月からは円安が進んだが、前年比では 7.6%の円高 (15 年 12 月の換算レートは 1 ドル＝122.63 円) であり、引き続き円建ての輸出金額が目減りしている。今後、足もとの円安の進展が反映されれば、円建ての輸出額はさらに押し上げられると見込まれる。

品目別の動きをみると、自動車 (前年比－4.7%) などが減少した一方で、自動車の部分品 (同+16.5%) や半導体等電子部品 (同+14.9%) が増加した。地域別では、EU 向け (前年比－4.0%) は減少したものの、アジア向け (同+12.0%) と米国向け (同+1.3%) が増加した。アジア向けは 11 月に続き、半導体等電子部品 (前年比+19.2%) がけん引役となっている。

為替の変動等の影響を除いた実質輸出 (季節調整値) は、12 月は前月比－1.6%と減少したが、水準は依然として高く、均した動きは持ち直している (図表 2)。10～12 月期では前期比+2.7%と 3 四半期連続でプラスとなっている。2 月 13 日に 10～12 月期の GDP 1 次速報が発表されるが、引き続き輸出がけん引役となると見込まれる。

図表 1 輸出金額 (前年比) の動向



図表 2 実質輸出の動向



○輸入の動向

12月の輸入金額は、6兆376億円(前年比-2.6%)と24ヵ月連続の減少となった(図表3)。輸入数量指数は前年比+3.6%と上昇したが、輸入価格指数は同一-6.0%と低下が続いた。資源価格は上昇したが、換算レートで前年から円高が進んだことが輸入価格指数を押し下げた。

○貿易収支の動向

輸出額と輸入額の差である貿易収支は、12月は6414億円と4ヵ月連続の黒字となった(図表4)。季節調整値は3567億円の黒字で、前月から黒字幅は縮小した。

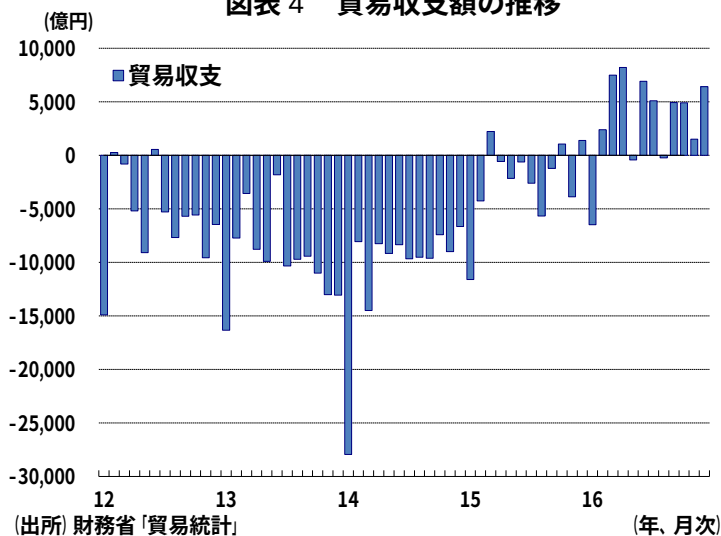
○2016年の貿易収支

2016年の輸出金額は70兆392億円(前年比-7.4%)と減少し、輸入金額も65兆9651億円(同一-15.9%)と減少した。貿易収支は4兆741億円の黒字で、2010年以来6年ぶりの黒字となった。

図表3 輸入金額(前年比)の動向



図表4 貿易収支額の推移



ご利用に際して

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。